

# News Letter

NEWS LETTER No.51 December 2017

## Contents

- ▶公益財団法人大阪コミュニティ財団 山口淑子友愛基金助成  
「ひきこもり家族のライフプラン」  
講座と個別相談会 事業完了報告 …… 1
- ▶青少年健康センター本部にて  
バザーを開催いたしました …………… 1
- ▶「茗荷谷クラブのいま……とこれから」… 2
- ▶会費等報告 …………… 3
- ▶自殺予防「クリニック絆」電話相談 活動報告 … 3
- ▶Center News …………… 4

### 「ひきこもり家族のライフプラン」 講座と個別相談会 事業完了報告

公益財団法人大阪コミュニティ財団  
山口淑子友愛基金助成



2017年9月20日 講師にファイナンシャルプランナーの畠中雅子先生（働けない子どものお金を考える会代表）をお招きし、「ひきこもり家族のライフプラン」講座を筑波大学東京キャンパス120教室にて実施いたしました。平日の昼間にも関わらず58名の方にご参加いただきました。

また同年10月7日～21日に「ひきこもり家族のライフプラン」個別相談会を実施いたしました。こちらの取組みは過去にもあまり前例がない中での事業でしたが、定員16名に対してそれを上回る申し込みをいただき、驚きとともに大変ニーズの高いものと感じる結果となりました。

来年度も同様の事業を計画しており、特に相談会に参加したかったけれども、できなかった方々への要望に応えられるよう、展開していこうと考えております。今後ともご支援お願いするとともに、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

### 青少年健康センター本部にて バザーを開催いたしました



2017年12月2日（土）青少年健康センター本部三軒町ビルにて、バザーを開催いたしました。当日は寒さが厳しい日でありましたが、多くの方々に足をお運びいただきました。その結果、総売り上げ100,675円となりました。

会員の皆様、また関係各位の皆様には多数の品物をご提供いただき、誠にありがとうございました。また当日足を運んでいただいた地域の皆様、関係者の皆様にもお礼申し上げます。下記に特にこの度のバザーの運営においてご協力いただいた皆様を記載させていただきます。重ねてお礼申し上げます。

玉の肌石鯨株式会社様…貴重な商品をおバザーの品物としてご提供いただきました。

フローリスト瑠様…たくさんのお花を品物としてご提供いただきました。

小川栄子様ご家族…バザー時に野菜の販売をしていただきました。

## 『茗荷谷クラブのいま……とこれから』

### ＜相談部門＞ 茗荷谷クラブメンタル部門相談室

茗荷谷クラブメンタル部門相談室では、心のこと、身体のこと、人間関係の悩み、家族のことなど、あらゆる相談をお受けしています。その中でもやはり多いのは、家からなかなか出られない方とその家族の方のご相談です。まずはお話をゆっくりと聞かせていただき、その方に合った心理療法を行います。認知行動療法を希望される方も多いです。

ご本人は、自己理解を深めて、前へ進もうと通ってきてくださっています。その真摯な姿勢と出会えることをとても嬉しく思います。皆さんそれぞれ、私たちに多くのことを教えてくれます。ご家族の方は、比較的長い期間にわたって悩んでいる方が多く、その苦労をねぎらいつつ、ご自身の事、ご本人との接し方、ご本人のためにどうすればよいかのアドバイスや話し合いを繰り返し、解決に向かって共に歩んでいます。これからも多くの方に来ていただきたいと思っています。

### ＜居場所から中間的就労へ＞

#### 茗荷谷クラブ・社会参加準備活動

現在、居場所には、約30名の方が通ってきてくださり、それぞれの持つ個性と仲間としてのあり様が混ざり合い、とても良い雰囲気となっています。「青春がなかった」というメンバーの方々が、楽しみ、悩みながら共に過ごす時間の中で、明らかに成長していく姿を目の当たりにしてきました。ゲームや雑談、様々な心理教育的なプログラム、月1回のイベントの中で、まずは本来の自分を取り戻す、回復する(＝リハビリ)、自由に自分の人生のオールを漕いで行けること(＝主体性の復活、自己決定)を目指しています。また、通常の月・水・金の活動日に加えて火曜日を増やし、どのグループに属している方も来られる日を新たに作ってきました。火曜日の活動は第1、第3がゲームグループ(ボードゲームやカードゲーム、TRPG等)、第2が料理、第4が外出、第4の午前中は賄いつき事務作業のお手伝いをしています。来たい人が来て、主体的に参加するこれらの活動は大きな意義があります。

また、課題として、40歳代以上の支援場所が少ないことを踏まえ、40歳代以上の方が集まれる食事会「よつば庵」の試みを始めています。

そして、現在クラブに通ってきている方の6～7割の人が、中間的就労を行っています(平成29年度4月～10月の延べ参加人数1,293名)。延べ人数の中にはクラブを卒業し、そちらに力点を移し、頑張っている方もいらっしゃいます。

中間的就労とは、「履歴書の空白が怖くて面接に行けない……」「1日、3時間くらいなら働けると思うが……」「スタッフが付いてきてくれたら……」「失敗が怖くて踏み出せない……」「クラブの人と何人かで一緒に働くことができれば……」「理解してくれる人のいる

職場であれば……」というメンバーの方のニーズに  
応え作ってきたものです。安心感さえあれば働ける方  
たちが多いと思えるので、「働く」中で居られる感覚、  
自分はやって行ける感覚をどう培うかを大事にしてい  
ます。適切になされた就労支援は、社会参加への意欲  
と実践、そして心の健康を強力に支えてくれるものと  
なります。ただ、大事なのは、本人が自ら、アルバイト  
したいと考え行動しようとするときがタイミングだ  
ということです。したがって、無理に引っ張り出した  
り、圧力を与えることはありません。スタッフはタイ  
ミングを見て背中を押しますが、一番の後押しはなん  
といっても、メンバー同士の雑談や、それぞれのメン  
バーの動きです。ワイワイと話したり、活動する中で  
こそ、変化が起きます。クラブが安心の基地になって  
いると感じます。

以上のような我々の活動・理念にご理解いただき、  
中間的就労に協力して下さっている企業様・団体様  
は以下の4社です。

企業名	仕事内容	時 間
株式会社 シミズオクト様	備品のピッキング ユニフォーム洗濯・管理	月2回～ 1日3時間～
社会福祉法人 三篠会 特別養護老人ホーム 「神楽坂」様	共有スペースの清掃	月2回～ 1日2時間～
株式会社ステム様	キャラクター 缶バッチの作成等	週1回～ 1日2時間～
株式会社島田組様	遺跡発掘	週1回～ 1日7.5時間

それぞれ、就労サポート、メンバー同士のミーティ  
ングを定期的に行っています。働き方を認められて、  
メンバーに、常勤雇用やアルバイト雇用の声がかかる  
こともありました。また、障がい者枠での就労は、明  
治記念館様からのお声かけがあり、スタッフがサポ  
ートをしながら進めています。

今後の課題としては、多くの方々に我々の取組みを  
ご理解いただき、相談や居場所の活動を幅広くひろめ、  
中間的就労を受け入れて下さる企業様・団体様を増や  
すこと、そのために各地域社会との連携を今以上に進  
めていくことです。昨年度・今年度と文京区のボラン  
ティア祭りに、作品を作って販売する等の参加もしま  
した。このような活動を今後とも増やし、若者たちが  
社会に参加できる場面を増やしていきたいです。

協力して下さる企業様・団体様がありましたら、  
ぜひ、お声かけください。

茗荷谷クラブが存続していけるのも、ひとえに皆様  
のご支援あっての事です。深く感謝申し上げます。今  
後ともどうぞよろしくお願い致します。

茗荷谷クラブ チーフスタッフ 井利由利

# 会費・寄付金・助成金・補助金報告 (平成 29 年 4 月～ 10 月)

青少年健康センターは大勢の個人の方々のご献金、および団体様・企業様の助成金、ご寄付、補助金などによって支えられています。ここに心から感謝申し上げてご報告いたします (敬称略)。

## 【正会員】

稲村 優子	今村 郁子	岩佐 壽夫	叶 香代	河野 治子	菊池 章	日下 忠文	倉島 徹
近藤 卓	齋藤友紀雄	齋藤 務	笹原信一朗	菅原 建	鈴木 光代	関川 俊男	高橋 清久
高山 智	角田 忠之	藤堂 宗継	時盛 昌幸	中島 聡美	西村 秋生	馬場 謙一	日高 正枝
福田喜代子	眞下 テル	松崎 一葉	宮田タマ恵	米沢 宏			計：580,000円

## 【維持会員】

猪熊 善子	遠藤幸代子	小鹿 敏夫	生出 美穂	大塚 慶子	岡内 泰子	國頭暉一郎	黒石美江子
小島 弘子	小西 香里	佐藤 悦子	鈴木 邦一	徳江 逸子	戸村みどり	原 佐恵子	藤井 幸子
藤井 忠幸	福山なおみ	松平 明子	三村 蓉子	宮崎 圭子	山本 弘夫	渡辺 彰子	渡部実知子
							計：350,000円

## 【SW会員】

SW会費+維持会費 18名：270,000円  
 SW会費のみ 65名：650,000円

## 【寄付・募金】

赤城 卓也	朝居 健	石村 愛子	石村 直也	伊豆 邦子	井出 道子	稲村 優子	井利 由利
上村 健二	小川 栄子	小野田欣子	各務 真紀	梶原 達也	川島 隆	木下八重子	日下 忠文
栗田 正明	小西 光代	小松ひろみ	齋藤友紀雄	杉山 恵子	角田 忠之	高野 龍子	高山 智
竹内 律	館 裕子	千葉 操子	千葉 泰子	堤 秀幸	津曲 恵子	西浦加代子	西田 佳代
野沢 和弘	野沢徳陽子	橋本 進	波多野瑞穂	原田 玲子	日高 正枝	堀井 茂男	安田はるみ
柳下 弘	山下 正美	山本 弘夫	匿名2名	こころのカウンセリングルーム			計：7,847,000円
インターネットによる募金総額							計：145,245円

## 【助成金・補助金】

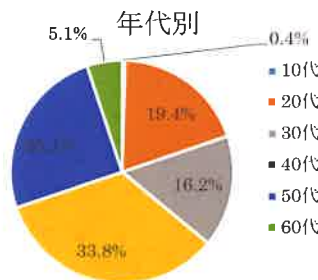
(公財)大阪コミュニティ財団、(公財)倶進会、(公財)毎日新聞東京社会事業団 計：1,050,000円

# 自殺予防「クリニック絆」電話相談 活動報告

2017年上半期(4月～9月)の電話相談内容を見てみますと、何らかの精神疾患からの訴えや家族を含む人間関係、また生活の困窮など複合的な問題を抱えて、これから先の生活不安や孤独感に追い詰められての相談が、多く寄せられています。

## 2017年上半期 (4月～9月) 相談実績

受信件数 710件 (男 543件、女 167件)  
 精神科医による土曜医療相談件数 26件 (受信件数に含む)



「死ぬほどつらいときに・・・」という思いで始まった、自殺予防「クリニック絆」の電話

相談活動は6年目を迎えています。年々相談件数は増え、昨年度(2016年)は1,093件に上りました。全体の自殺者数が減る傾向にある中、15歳～39歳の死因は依然として自殺が1位という深刻な状況にあり、若者につながる相談体制を模索しています。

クリニック絆 小西光代



# Center News

平成29年 (敬称略)

## 6月

- 東京都主催 ひきこもりに関する講演会・合同説明会に茗荷谷クラブが参加 3日
- 理論講座 中期「私の！こころさがし」7、14、21、29日 7月5日  
講 師：藤堂宗継（臨床心理士、歌舞伎町メンタルクリニックカウンセラー）於日本社会事業大学文京キャンパス
- 基礎講座 前期  
講 師：藤堂宗継 7日から5回
- クリニック絆 電話相談員研修 16日  
講師：齋藤友紀雄
- 文京区主催ひきこもり講演会・個別相談会開催 17日  
講 師：齋藤 環（筑波大学教授、精神科医・医学博士、当センター参与）於文京区民センター

## 7月

- 実践的ひきこもり対策講座 宿泊研修 8～9日  
講 師：齋藤 環 於リフレフォーラム
- クリニック絆 電話相談員研修 19日  
講 師：藤堂宗継

## 9月

- 体験談とDVD鑑賞会 2日 於アカデミー茗台
- クリニック絆 オープンハウス実施 12日 来賓来室
- 公益社団法人大阪コミュニティ財団 山口淑子友愛基金助成「ひきこもり家族のライフプラン」講座開催 20日  
講 師：畠中雅子（ファイナンシャルプランナー）於筑波大学
- 基礎講座 中期  
講 師：藤堂宗継 27日から5回 於日本社会事業大学文京キャンパス
- クリニック絆 電話相談員研修 29日  
講 師：谷口万稚（米国臨床心理士）

## 10月

- 実践的ひきこもり対策講座 1日  
講 師：齋藤 環 於アカデミー茗台
- 台東区主催ひきこもり講演会 7日  
「ひきこもりと発達障害」  
講 師：高森 明（アスペルガー当事者）
- 公益社団法人大阪コミュニティ財団 山口淑子友愛基金助成「ひきこもり家族のライフプラン」個別相談会開催7、11、17、21日

- クリニック絆への取材 16日  
メンヘラJPからインタビューを受ける。
- 東京都若者社会参加応援事業  
ひきこもり等の若者支援団体による合同説明会  
茗荷谷クラブが参加 21日
- 文京区主催ひきこもり講演会・個別相談会 21日  
講 師：齋藤 環 於文京区民センター
- クリニック絆 電話相談員研修 24日  
講 師：谷口万稚

## 11月

- クリニック絆 電話相談員研修 16日  
講 師：谷口万稚
- 実践的ひきこもり対策講座 19日  
講 師：齋藤環 於お茶の水女子大学
- シンポジウム開催 19日  
テーマ：「ケアとしての就労支援 人と仕事が“葉”になるとき」  
講 師：齋藤 環  
工藤 啓（認定特定非営利活動法人育て上げネット理事長）  
野口晃菜（株式会社LITALICO執行役員）  
於お茶の水女子大学

## 【訃報】

### 青少年健康センター設立メンバー 玉置明子様のご逝去

青少年健康センターの設立に多大なるお力をいただいた玉置明子様が平成29年5月28日、ご逝去されました（享年85歳）。当センターの設立から現在に至るまで、千代田化工建設株式会社の元会長でいらした玉置正和様とご令室である明子様の両名なくしては実現し得なかったことです。ここに長年に亘るご貢献に心より感謝を申し上げ、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



当センター設立総会時（1990）

平成29年12月15日  
会長 齋藤友紀雄

発行・公益社団法人 青少年健康センター（会長 齋藤友紀雄）

〒112-0006 東京都文京区小日向4-5-8 三軒町ビル102 TEL:03-3947-7636 / FAX:03-3947-0766  
http://skc-net.jp E-mail : info@skc-net.jp